



林 さえこの柏市議会



《発行》 2019.4.3
林 さえこ(柏市議会議員)
fb.com/SaekoHayashi.Kashiwa
twitter.com/saeko_hayashi
《問い合わせ》
 林 さえこ事務所
 (市民ネットワーク・かしわ)
 <平日 9:30~16:30>
 〒277-0005 柏市柏 5-8-15
 TEL : 04-7166-6648
 FAX : 04-7166-6716
 MAIL:smnnet@bz03.plala.or.jp

2019年第1回定例会

定例会が2月22日(金)から
 3月18日(月)まで行われました。一般質問の録画は、市民ネットワーク・かしわのHPや柏市のHPで見ることができます。

3/11(月)林 さえこ 一般質問項目

- 1 児童相談所の設置
- 2 家庭養護の推進
- 3 総合防除に基づく
公共施設の薬剤使用指針
- 4 産前産後支援
- 5 性の多様性の尊重
- 6 火葬場の利用
- 7 居住支援と防災対策
- 8 仮設住宅
- 9 学用品の備品化
- 10 放課後の居場所づくり

「一般質問」とは、市の事務の執行状況や計画の考え方などの報告や説明を、市長や担当部長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

初めて秋山市長が「設置に向けて前向きに検討する」と表明してから一年、この間柏市は児童相談所(以下児相)を設置する準備として、県へ職員を派遣するなどしてきましたが、大きな進展は見られませんでした。

しかし、野田市の痛ましい事件が発覚した後、児相設置に向けた検討会議の開催経費が新年度当初予算案に計上されたと報道されました。その後、市長は施政方針演説の中で事件に触れ、虐待の予防から早期発見・早期対応、そして子どもの保護や自立支援に至るまで市が一體的に担つていくことが非常に重要との認識を示しました。

新年度予算に小さな一步

まだ何も決まっていない

しかし、県立の柏児相の負担が重すぎる状況も、中核市である柏市独自の児相設置の必要性も、以前から私が指摘してきたことです。柏児相管内で死亡事件が起ころるまで積極的に動こうとした責任を、市長は重く受け止めるべきです。

柏市とほぼ同じ状況だった船橋市は、2025年4月に児相を開設することを発表しましたが、柏市は設置年度に言及しませんでした。新年度開催する検討会議についても詳細は決まっていない状態で、県との協議スケジュールも示されません。

児相を作るには時間が掛かります。特に児童心理士や社会福祉士、保健師など専門的な知識を持つ職員の確保と育成が課題です。迅速に準備を進めてほしいと考えます。

今後は柏市も里親を増やす努力が必要です。県の体制も不十分であり、相談窓口の設置や相談会の開催、研修参加支援制度の創設など、先進市に学ぶよう求めました。

児童相談所設置に向けて



里親の推進体制を

増え続ける家庭児童相談に比例し、家族と暮らせない子どもも増えています。子どものが成長にとっては特定の大人との愛着関係がとても大切ですが、先進国と異なり日本では、虐待などで家族と離れた子どもが多く(約85%)が乳児院や児童養護施設などの施設で暮らしています。

以前から里親などの家庭養護の推進に力を入れるべきと求めてきましたが、柏市は未だ市内の養育里親の数さえ把握していません。

児相を設置すれば、施設や里親への措置権限が県から市に移譲されます。柏市で保護された子どもが、どの施設や里親の元にいるのか、施設や里親がどれくらい足りないのか、まず現状の把握をしっかりとするように求めました。

ウイングホール柏斎場

柏市は我孫子市や流山市と共に火葬場を共同運営しています。このウイングホール柏斎場は火葬炉12基を持つ比較的大きな斎場ですが、合計74万人となる3市の人口規模からすると不十分です。

高齢化に伴って利用が増え、近年ウイングホール柏斎場では、特に混み合う1月2月に火葬炉の利用希望者が一週間以上待たされ、近隣斎場に流れることが通例になっています。ウイングホール柏斎場の組合員外利用は例年1%強を推移していますが、柏市民の利用が多い松戸市斎場の市民外利用は10%を超えています。松戸市斎場によると、多い時には1日に5~6件、柏市民が利用しているそうです。

理不尽な費用負担

公営の火葬場では、運営主体の市民と市外の利用者で、値段に差を付けるのが一般的です。柏市民

周辺自治体の火葬場利用料金比較

	火葬料金(大人)		霊安室利用料金	
	市(組合)内	市(組合)外	市(組合)内	市(組合)外
ウイングホール 柏斎場	4,600円	82,500円	6,200円	16,400円
松戸市斎場	3,000円	50,000円	6,500円	13,000円
野田市斎場 関宿斎場	無料	26,000円	1,080円	7,020円
市川市斎場	2,250円	50,000円	—	—
印西斎場	10,000円	50,000円	5,150円	10,300円

出典：各自治体HPや火葬場HPより作成

火葬場が 足りない

が火葬する場合、ウイングホール柏斎場では4,600円で済むところ、松戸市斎場では50,000円も掛かります。またウイングホール柏斎場で待つ場合も、靈安室利用料金が一日6,200円、1週間では43,400円と、やはり高額になります。近しい人が亡くなった大変な時に、市民に理不尽な費用負担までさせてはいけません。

まずは助成を

2018年、3市合計の死亡者数は約6100人でしたが、推計では2025年に8000人、2035年に9000人を超える見通しです。ウイングホール柏斎場では、火葬炉の入れ替えや受入時間帯の見直しも検討しているようですが、それだけでは需要の増加に対応しきれません。

木更津市では、他市の火葬場を利用した場合、木更津市火葬場使用料との差額を助成しています。柏市でも早急に実施すべきです。また、松戸市などとの広域連携も検討するとの答弁がありましたので、今後の対応に期待します。

ひとりで悩まずに済むように

LGBTに代表される性的マイノリティが一定の割合で存在することは、近年多くのメディアで取り上げられ、知られるようになってきました。当事者の話を聞くと、周囲の偏見や差別を恐れ、家族へのカミングアウトさえもできなかったという人が多いことに胸が痛みます。特に、自分の性に対して違和感を持ち

ながらも、その違和感の正体が何であるかわからないまま悩んでいる子どもたちが心配です。

これまで教職員への研修などを進めてきましたが、相談しやすい環境をつくるため、アライ

の可視化についても周知するよう求めました。

「アライ」とは、英語で「同盟、支援」を意味する言葉。性的マイノリティを理解し支援する立場を明確にしている人々を指します。LGBTの社会運動を象徴する6色のレインボーフラッグを身に着けたり、レインボーカラーのアライステッカーを掲示したりすることで、アライの存在を可視化することができます。

伊賀市では独自のステッカーを作成し、市役所や学校に貼って使ってています。また、希望者には無料で配布しているようです。理解者が可視化されることで相談しやすくなり、周囲の理解も進みます。

市の相談窓口担当職員への研修の実施、教職員への周知についても触れた上で、アライの可視化を進めていくとの答弁があり、今後の施策に期待が持てます。引き続き注目していきます。



出典：伊賀市HP

薬剤使用の削減



必要以上の農薬散布

柏市は、平成20年から農薬等薬剤使用に係る基本方針を定め、各公共施設において環境や健康に悪影響を与えるおそれのある農薬使用の実態調査を行い、削減について市民へ啓発しているとしています。

しかし実際に削減に向けた努力がされているとは言い難く、害虫の発生状況に関わらずに、毎年一斉に農薬散布をする施設が目立ちます。

特に問題と考えるのは、子どもたちが長い時間を過ごす市立保育園です。化学物質過敏症やシックハウス症候群はいつ誰かが発症してもおかしくありません。子どもたちの健康を一番に考えるべき子ども施設において、あまりにも配慮がなすぎます。

岐阜市では

薬剤使用の削減に積極的な岐阜市では、総合防除の考え方に基づいて、農薬、殺虫剤等の薬剤使

用に関する基本方針を策定しています。「病害虫等の生息状況に関わらず一律に薬剤を使用することは、原則として行わない」「日頃から病害虫が発生しにくい環境づくりに努める」「防除はできる限り薬剤を使用しない方法で実施する」「薬剤を使用する場合も、誘殺、塗布など散布以外の方法を検討する」などを定め、多くの市民が利用する公共施設で、できる限り薬剤を使用しないように努力しています。

やる気が見えない

9月の議会で同様の指針の策定を求めたところ、「担当課を作つて協力体制を作るよう努めたい」という前向きな答弁があつたので、半年後の今回は進捗状況を聞ききました。担当課は環境政策課になつたようですが、具体的にはまだ何も進んでいないことがわかりました。柏市の答弁の中の「検討します」は「何もしません」と同義語の場合があります。やると言つたことをしっかり進めてもらうべく、定期的に取り上げ続けます。

「切れ目ない支援」は十分?

産前産後支援事業

柏市社会福祉協議会では、さわやかサービスという生活援助サービスの中で産前産後支援を行っています。利用会員登録をした産前産後の母親への家事支援などを地域の協力会員が行うもので、ファミリーサポート事業と同じような考え方あいの有償サービスです。登録・利用者数、利用時間数、特に新規の利用依頼が増えていて、夫や実家など、家族を頼れない母親に利用されていることが伺えます。

しかし、日曜、祝日、年末年始は利用できないなど、制約が多く使いづらい内容です。提供会員、利用会員共に会員登録の際に年会費が掛かり、利用料がファミサポートより高い（1時間あたり880円に設定されているのも負担です）。



誰もが利用しやすく

特に課題を感じるのは、こども部や保健所との連携がない運営です。厚労省の調査では2016年度の虐待死は6割が0歳児。特に2割が生まれたその日に亡くなっています。若年、貧困、精神疾患などいわゆる特定妊婦によるネグレクトも多く、出産前から確実に福祉につなぐ方策が求められています。

柏市では養育支援訪問事業や産後ケア事業なども行われていますが、虐待や自殺などを防ぐために、妊産婦をサポートする施策はできる限り多様な内容で充実させるべきです。

産前産後支援についても、こども部や保健所と連携し、特定妊婦や多胎妊娠婦が無料もしくは低額で利用できるようにするなど、妊娠出産期からの切れ目ない支援の一環として力を入れるよう求めました。さわやかサービス制度全体の見直しが予定されているので、これを機にしっかりと見直してほしいと考えます。

2019年度一般会計予算案に反対

財政規模の増大

国の進める幼児教育、保育の無償化の影響もあって2019年度当初予算は増大し、全体の会計規模は1,342億6,000万円となります。市税収入自体は増加が見込まれるもの、歳入全体の伸びに追いつかず、歳入に占める市税の割合は50.8%まで下がります。

企業会計、特別会計を含めた全体の債務残高は29億円減る予定ですが、一般会計の債務残高が増加に転じることは問題です。特に臨時財政対策債は新規発行額31億円に対して償還額が32億円と、借りる額より返す額の方が多くなっています。臨時財政対策債の発行を押さえ、不安定な財政構造を安定させる努力が必要です。

主な事業の課題

これまで適切な情報公開がされていない柏駅西口北地区再開発事業について、新年度予算でも都市計画図書作成業務委託が計上されています。市は都市計画決定前に数か月間の検討期間を設けるとしてい

ますが、計画が固まる前に市民に情報公開し、市民的な議論の下で検討されるべきです。

また、市長が市立病院建て替えの条件に挙げた「急性期病床で病床利用率80%の達成」が見込まれる今、老朽化した建物を一刻も早く建て替えるべきです。建て替えを決めてから新しい病院が開院するまでには少なくとも5年はかかるため、速やかな決断が必要です。

また、市民の望む声が大きいコミュニティバスの運行についても本格的に検討し、公共交通の不便を解消しようとする視点に立つべきです。

福祉の充実を

新年度予算では、福祉住宅政策の遅れも気になります。秋山市長は市営住宅を増やすないまま、老朽化した市営住宅は廃止する意向ですが、それであれば尚更、既存借上型の市営住宅制度を確立し、住宅確保要配慮者への居住支援を行っていかなければいけません。住まいの確保は基本的人権の根幹です。

市長は「今後の住居の安定確保は、長寿命化と民間賃貸住宅の活用、家賃補助の住居支援施策の検討が重要」との認識を述べましたが、その一方で次年度の予算に進捗が認められないのは問題です。

子どもたちに居場所を

放課後の居場所づくりも進みません。放課後子ども教室として新年度は小学校40校でステップアップ学習会が行われます。しかし、対象者も開催日も少ない学習支援では、本来の趣旨である居場所づくりは実現されません。

市長は「放課後の居場所づくりは、学童保育、児童センター、放課後子ども教室の連携が必要」との見解を述べましたが、元々数が少ない児童センターを増やす計画はなく、学童保育もいっぱい、どの施策も居場所として不十分な現状は大きな問題です。

また、東海第二原発の再稼働について、秋山市長は決して反対の意思を示そうとしません。市民の命と健康を守ることを優先できなければ、市長失格です。

以上のような数々の問題点を指摘し、2019年度予算案に反対票を投じましたが、賛成多数で承認されました。

くらしと政治の おはなし会

現役ママ議員と
しゃべろう



くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。
皆さんの声をお聞かせください♪

第29回 5月6日(月祝) 13:00~15:00

第30回 5月13日(月) 10:00~12:00

林さえこ事務所にて

(市民ネットワーク・かしわ)

参加費: 無料

申し込み: 事務所にご連絡ください。

(飛び入り参加も大歓迎♪)

2~3人からを対象に
出張おはなし会も
開催いたします。
ご相談ください。